

2020 年度 英語教員志望者対象特別講演会

2020 年 12 月 21 日（月） 17:00 – 18:30

Zoom によるオンライン開催（要事前登録）

英語を「使う」場面の工夫

埼玉大学教授 及川 賢 先生



概要

英語を身に付けるには、英語の規則などを「学ぶ」と英語を実際に「使う」機会の二つが重要だと考えています。しかし、英語が日常的に使われることが極めて少ない日本では、教室で英語を使う場面がある程度増やす必要があります。この点は「言語活動」を重視する新学習指導要領にも通じています。本日は、その具体的な方法として、身の回りの教材を用いた活動例や英語以外の教科の内容を取り入れた活動を紹介いたします。また、言語活動やコミュニケーション活動を実施する上で注意すべき点などにも触れたいと思います。おもに小学校や中学校での活動を紹介しますが、高校での指導にもつながると考えています。リモートでの講義なので一方通行になりがちですが、チャット機能などを使って、interactiveに進めたいと思っています。中学生になったつもりで参加をしていただく場面もありますので、その際はよろしくお願いたします。教師を目指す皆さんに少しでもお役に立てば幸いです。

講師紹介

埼玉県出身。1966 年生まれ。埼玉県立不動岡高等学校、東京外国語大学卒。東京学芸大学院、レディング大学大学院（イギリス）修了。私立武蔵高等学校中学校教諭（英語）を 3 年勤めた後、1994 年より東京学芸大学助手。1999 年山梨医科大学助教授、2002 年より埼玉大学教育学部助教授。2018 年より教授。学部及び大学院で英語科指導法（教科教育）など英語教育関係の授業やゼミを担当。埼玉県内の中学校や小学校の英語教育関係事業の指導者・講師も務める。検定教科書 *TOTAL English*（中学校）、*Junior TOTAL English*（小学校）編集委員。月刊誌『英語教育』にて新刊紹介のコーナーである New Books & DVDs を 2002 年から連載（偶数月担当）。『エイエイ GO』（NHK テレビ）テキスト内の連載「それ、中学英語で言えます」。文部科学省平成 25 年度学習指導要領実施状況調査問題作成委員・分析委員。埼玉県中学校英語弁論大会審査委員。埼玉県学力・学習状況調査データ活用事業指導班委員。『英語指導技術ガイド Q&A: 授業の悩みにこたえる 26 のレシピ』（語学教育研究所（分担執筆））、『英検 1 級総合対策教本』（旺文社）、英和辞典『フェイバリット』（東京書籍）執筆。

対象者

英語学科に限らず、本学で英語教員免許取得を目指している学部生、大学院生、および英語教育に興味のある学生・教員は誰でも参加できます。

事前登録

下記アドレスまたは右の QR コードから事前登録をしてください。折り返し参加用アドレスが送信されます。

<https://zoom.us/meeting/register/tJ0ufuqsrzgvGtYqE4TIjDzAMfAX9BdL4tSv>



本件に関する問い合わせ先：淡路 佳昌（awaji@ic.daito.ac.jp）